

三次市教育委員会会議録

1. 日 時 平成25年4月26日(金)
開会 午後 2時00分
閉会 午後 5時15分

2. 会 場 みよしまちづくりセンター 2階 会議室

3. 出席委員 委 員 長 沖 田 稔
委 員 小 根 森 直 子
委 員 藤 原 博 巳
委 員 土 井 純 子
教 育 長 児 玉 一 基

4. 出席職員 教 育 次 長 白 石 欣 也
学 校 教 育 課 長 加 藤 良 二
教 育 委 員 会 事 務 局 付 課 長 迫 田 隆 範
社 会 教 育 課 長 落 田 正 弘
教 育 総 務 係 長 道 々 尚 美

社会教育課長 ただいまから教育委員会会議を開会する。委員長の挨拶を願います。

沖田委員長 一挨拶一

社会教育課長 委員長に進行を願います。議案第11号から進めていただきたい。

議案第11号 教職員の人事について
(人事案件につき非公開)

議案第1号 三次市教育奨学金貸付審査会委員の委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第2号 三次市社会教育委員の委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第 3 号 三次市スポーツ推進委員の委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第 4 号 三次市学校給食調理三次市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第 5 号 三次市就学指導委員会委員の任命について
(個人情報につき非公開)

議案第 6 号 三次市教育スーパーアドバイザーの委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第 7 号 三次市家庭教育支援アドバイザーの委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第 8 号 三次市立小中学校の学校評議員の委嘱について
(人事案件につき非公開)

議案第 9 号 三次市学校支援ネットワーク地域サポーターの委嘱について
(人事案件につき非公開)

沖田委員長 それでは議案第 10 号三次市立学校職員服務規程の一部改正について事務局の説明を求める。

教育委員会事務局付課長 この議案は、三次市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令案を提案するものである。これは平成 25 年 4 月 1 日付で広島県から示された旅行命令依頼簿等が改正されたことに伴う改正である。三次市立学校職員服務規程第 10 条第 2 項に、「ただし旅費を伴わない旅行の場合は、旅行命令簿(様式第 14 号)により事前に所属長の承認を得ることができる。」を加える。様式第 13 号旅行命令簿の中に週休日の振替欄を加え、また旅行の確認欄に 5 口頭復命を加える。

沖田委員長 旅費を伴わない旅行について、従前は旅行命令簿はなかったのか。

教育委員会事務局付課長 旅費を伴う旅行と同じ旅行命令簿を使用していたが、もう少し簡易な形にするということである。

沖田委員長 様式そのものを変えるということか。

教育委員会事務局付課長 はい。例えば家庭訪問については新しい様式で対応することになる。

沖田委員長 法的にはいかなる旅行も口頭復命は可となっている。課長の説明では、旅

費を伴わない旅行は口頭復命をよしとするとのことだったが、法との整合性はどうか。

教育委員会事務局付課長

勤務管理上、復命については文書で作成して確認をするという方法でやってきた経緯がある。口頭復命は可となっているが郵便局での用事も、復命書として書かなければならなかった。今後は学校近くでの用事については口頭復命もできるというように考えた。ただ、これは明記されていない。県にどういう場合が口頭復命にあたるのか確認をした中では、学校近くで簡便な用事をするような場合は口頭復命でよいとのことだった。基本的には簡単でもきちんと記述して復命とすることになっている。

沖田委員長

それはよくわかるが、私が言いたいのはいかなる旅行についても、復命の形式は書類による復命もしくは口頭による復命の両方がある。そのように法律ではなっている。現職のとき口頭で復命させてほしいということで承認したことが何回かある。旅費を伴わない旅行以外、口頭復命は一切なしと解釈されるのはいかなるものかと思ひあえて申し上げた。

教育委員会事務局付課長

校長から口頭復命はどういう場合が口頭復命なのかと問い合わせがあり、先ほど申し上げたような説明をしている。個別具体的にになれば様々な案件がでてくるので、校長（所属長）がきちんと確認できたらよろしいというように対応している。

沖田委員長

これは全て手書きか。

教育委員会事務局付課長

手書きである。ただ様式のデータがあるので、旅行命令の方はパソコンで作成をして、復命だけは手書きとしている。

沖田委員長

復命欄は枠が広くないが、詳細は別紙というような形か。

教育委員会事務局付課長

はい。

沖田委員長

承認してよいか

委員一同

—承認—

沖田委員長

次に、協議・報告事項に移る。事務局からの説明を求める。

教育委員会事務局付課長

—明日の三次教育創造懇話会設置要綱の制定について—

沖田委員長

懇話会のスケジュールはどのように計画されているか。

教育委員会事務局付課長

6月、8月、10月の年3回程度開催し、年内に提言を行いたいと考えている。

沖田委員長

今年度中に終了するということか。

教育委員会事務局付課長

懇話会は来年度以降も継続できるように考えている。

沖田委員長

今年度は学校教育に焦点を当てるとのことか。

教育委員会事務局付課長

はい。

沖田委員長

次年度はまた新たなテーマを設けるとのことか。

教育委員会事務局付課長

はい。

小根森委員

委員は前回の教育委員会議で提案された方を任命するのか。

- 教育委員会事務局付課長 具体的な人選はこれからである。前回、若い方や学生など幅広い視点で想いを述べていただける方を選んだらどうかという意見をいただいた。そのことを踏まえて5月中に人選・任命していきたい。
- 小根森委員 6月に懇話会を開催するなら、かなりタイトなスケジュールで人選することになる。
- 土井委員 前回の教育委員会議で提案された方と同じになることもあり得る。
- 小根森委員 この懇話会の意図がいまいち掴めない。内容がよく練られないうちに施行されるのではないかと危惧する。
- 教育次長 懇話会委員には大学教授等専門知識のある方に入っていただきたいと考えている。もちろん身近な方や前回意見をいただいた若い方も含めて検討する。懇話会の議題については、今年度は学校教育を考えている。特に学力向上対策については、知力・体力とも目標に到達していない。みよし教育ビジョンに県内のトップ5を目指すことを掲げているが、それを実現するためにはどういったことが足りないのか、今後、具体的に何をしていけばよいのかといったご意見をいただきたいと考えている。また、小中一貫教育を進める中でのコア・カリキュラムについてなどもテーマの一つとして考えられる。学校教育の中にも多くのテーマがあるが、たくさん設けてもまとまりがなくなる。
- 沖田委員長 学校教育にしぼっての学力向上対策であるなら何も無理に外部から人を呼んでこなくても、プロの集団が事務局にいるのではないか。事務局で対処すべきではないか。やるからにはもっと何かがあるのではないか。
- 教育次長 テーマは他にも考えられる。一例として説明させていただいた。
- 沖田委員長 みよし教育ビジョンを制定する際には、外部の方の知恵をお借りするために懇話会のようなものが必要だが、教育ビジョンを具現化するためというのはいかがかと思う。
- 教育次長 懇話会はみよし教育ビジョンを実現するための意見をいただく場にした。学校教育推進計画や社会教育推進計画等主要な施策を作り出すための提言をいただきたいと考えている。また三次市総合計画の教育関係の計画にも懇話会での提言を参考にさせていただきたいと思っている。
- 沖田委員長 みよし教育ビジョンと市の総合計画の関係はどのようになるのか。
- 教育次長 総合計画にみよし教育ビジョンの理念を掲げていく。
- 沖田委員長 みよし教育ビジョンはすでに出来上がっているものなので、懇話会の委員の中には、中身を変更するわけにはいかないし、難しいと思う方が出てこられるのではないか。
- 小根森委員 懇話会が求めているものがまだはっきりしない。それがないと委員をどういう基準で選ぶかも分からない。
- 教育次長 今回の懇話会の委員は学校教育に焦点を絞って人選したい。

- 小根森委員 学力向上という括りか。
- 教育次長 学力向上抜きには語れない。ただ学力向上でも三次を愛し誇りに思う子どもたちを育てるためにはどうしたらよいか、家庭教育の推進等を含めた内容を議論していただくことはできる。学力といっても知力限定とは考えていない。
- 小根森委員 特に三次で課題になるのは家庭教育である。家庭教育について何か施策を考えていきたい気持ちがある。
- 教育次長 家庭教育は小中一貫教育での大きなテーマとしている。社会教育の分野でも家庭教育は大きなテーマとして長年取り組んできたが、成果が今一つである。懇話会で視点を変えた意見をいただけるのではないかと期待するところである。
- 沖田委員長 保護者にいかに訴えていくかということが大切になる。家庭教育は古くて新しい課題である。自分の故郷である三次を愛するということは学校だけの話でない。例えば基盤産業である農業とのかかわりでどうなのか等、地域として三次市全体としてどう取り組むべきか話されないと意味がないと思う。学校教育のことは教育委員会で取り組まないといけない。もっと幅広く三次市の教育をやるためには産業がどうあるべきかなど含めて論議していただけたらいいと思う。
- 教育委員会事務局付課長 冒頭で学校教育という言い方をしたが、子どもをターゲットにして三次の強みや課題等、様々なところから意見をいただきたい。
- 沖田委員長 みよし教育ビジョンには、残念ながら三次ならではのものがあまりない。三次のオリジナリティを織り込めれば鬼に金棒だと思う。
- 小根森委員 入学式に出席して感じたことだが、就学前からの教育をきちんとしていないと学力向上も体力向上もない。そこのところを何とかしたい。懇話会でもそのようなことを考えてもらいたい。
- 土井委員 小学校と保育所の連携をしっかりとっていかないといけない。
- 沖田委員長 テーマの幅を広げる必要がある。三次ならではの課題と解決策を考えないといけない。懇話会設置要綱そのものはよいと思うが、問題は人選や中身である。やるからには早く着手して取り組むことである。
- 教育委員会事務局付課長 一教職員の人事について—
(人事案件につき非公開)
- 教育委員会事務局付課長 一平成25年度教育施策の概要について—
- 沖田委員長 これをもって本日の会議を終了する。